

教科	生活	単元名	大きく そだて わたしの野さい
----	----	-----	-----------------

本時のねらい

- ・自分たちが育てている野菜が成長していることについて、聞き手（1年生）を意識した発表資料を作ることができる。
- ・聞き手に伝える工夫を他者と共有し、自分の発表資料へ活かすことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・聞き手に伝わりやすくするための、資料（写真）の大きさや配置を、何度も試行錯誤できる。
- ・聞き手に伝えるためには、どのような言葉でどこに配置すれば良いのかを、何度も試行錯誤できる。
- ・友だちの作品を簡単に共有できるので、座席に座ったままで友だちの工夫を見つけることができる。
- ・前時の作品と本時の作品を比べることができるため、自分の学習成果を簡単に可視化できる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリンク）
- ・カメラアプリ
- ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に下書きとして作成した発表資料をオクリンク内でコピーしておく。そうすることで本時の最後に自分の学習成果を可視化することができる。
めあて 1年生にわかるように しょうかいできるようになるう		
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した資料が1年生に伝わりやすいか見直し、変更点について考える。 ・聞き手（1年生）にわかるように、文字の大きさ、言葉遣い、写真の大きさや配置等を工夫する。【写真1】 ・必要に応じて、写真撮影に行く。【写真2】 ・写真の撮り方の工夫を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が自分よりも年下であることを意識させ、文字や写真の大きさ、配置を変更する。 ・聞き手を意識して、写真の撮り方を工夫するように促す。 ・現段階でできている部分を近くの友だちと共有する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクで全児童の資料を共有する。 ・友だちの工夫を参考に、自分の作品を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をどのように説明するか考えさせる。 ・できた資料をオクリンクで共有し、友だちの工夫を見つける。 ・言葉だけでなく、矢印や写真への書き込み等にも注目させる。 ・すべてを真似るのではなく、自分が伝えたいことに合わせて、それぞれの工夫を使うように伝える。 ・時間が足りない場合は、家庭で取り組むことを認める。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】聞き手を意識して、簡単な言葉に直したり、説明を付け加えたりする場面



【写真2】聞き手を意識して、1年生に伝える写真を撮るために再度撮影に来た場面



【写真3】友だちの伝え方の工夫を聞き、自分の作品に活かそうとする場面※2時間目

児童生徒の反応や変容

- ・聞き手を意識することで、伝えるために言葉の工夫を行ったり、もう一度撮影したりと、意欲的に取り組むことができた。
- ・友だちの工夫を見つけ、自分の作品に活かそうとする姿が見られ、友だちの作品と自分の作品の良さに気付くことができた。
- ・前時の自分の作品と見比べることで、自分の作品がより良いものへと変わっていったことがわかり、自分に自信を持てた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・生活科の発表で終わらせず、国語科の「話す・聞く」領域を意識して取り組むと、児童の発表資料がより良いものになった。
- ・伝え方の工夫は、自分1人で気づくには限界があり、友だちの工夫を見つけることで、自分の作品にも活かすことができた。
- ・児童自身の成長は、学習の前後を見比べたときにわかりやすく、頑張った成果が目に見える形で残っていることが大切だと感じた。
- ・本時は2時間続きの学習展開とした。本展開は1時間目の様子である。2時間目は、さらに自分の資料が1年生に伝わりやすくなるように練り上げる時間とした。また、発表の仕方について考える時間も設定した。